



若松線ニュース

令和8年3月号

■ 工事内容

『若松線アンダーパス』の新設工事は、トンネルの天井（上床版）を造る工事が終了しました。本年度はトンネルの側面（側壁）と底面（下床版）を造る工事を行っております。鉄道との立体交差道路の工事は、長期間にわたるため地域の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、今後も引き続きご理解とご協力をお願いします。

■ 工事スケジュール

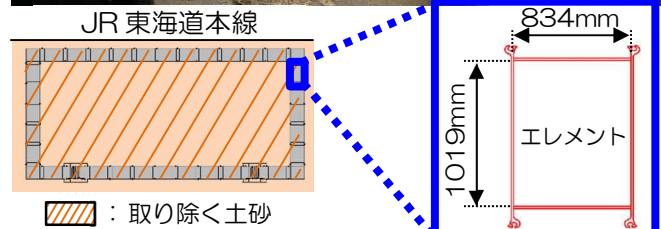
年度		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
市道 若松線	JR アンダーパス														
	道路工事														
砂川	JR アンダーパス														

※工事状況により変更となる場合があります

■ 現在の工事状況写真（令和7年撮影）



若松線 JR アンダーパス工事ではエレメント（鋼製の角型部材）を繋ぎ合わせて箱型のトンネルを造ります。箱型トンネル内の土砂はバックホウ等の建設機材を用いて取り除くことができますが、エレメントのサイズが約1m×約1mであるため、エレメント内部の土砂は人力で取り除きます。

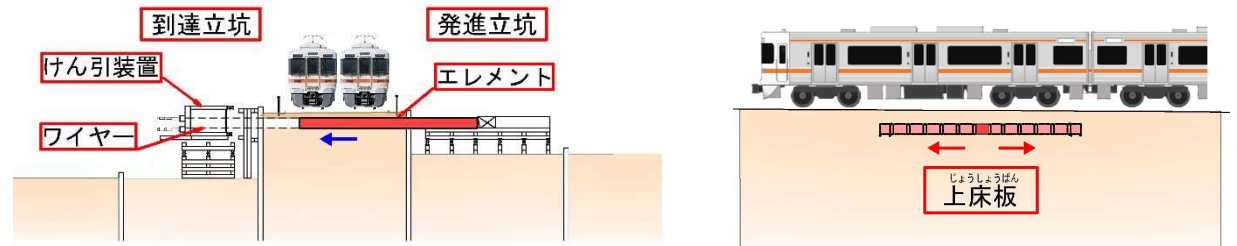


■ 工事手順

工事は、下図の手順で行います

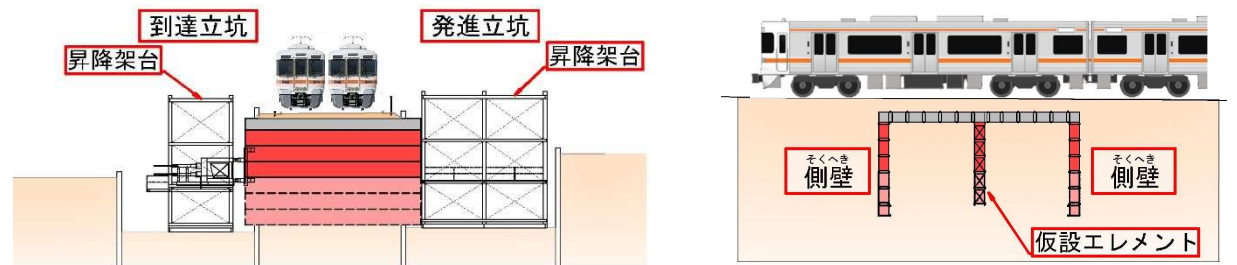
STEP1 トンネルの天井となる上床版を造る。

完了しました



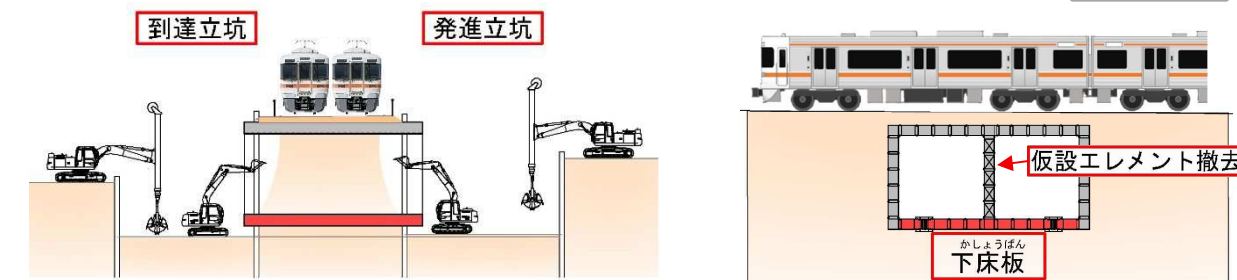
STEP2 次に、トンネルの側壁と下床版を造る。

本年度 工事



STEP3 最後に、トンネル内の土を取り除いてトンネルの完成。

STEP2 終了後



■ Q&A

- Q：どうしてこんなに時間がかかるの？
 A：昨年からトンネルを掘る工事を行っていますが、トンネルを掘る前に工事用の道路を造ったり、隣の砂川の水が流れ込まないようにする**安全対策のための工事**を行っていました。
- Q：トンネル（エレメント）は1日でどれくらい進むの？
 A：1日で約2m進みます。トンネルの長さは15mあるので、1週間程度でエレメントを1本入れることができます。
- Q：なぜ機械ではなく人力で掘るの？
 A：機械で掘ることもできますが、電車を通しながら作業しているため、**より慎重に、より安全に施工できる**人力で掘っています。
- Q：なぜこの工法（HEP&JES工法）にしたの？
 A：今回採用したHEP&JES工法は、鉄道下の土を掘り返さずにトンネルを作ることができることや、エレメントをトンネル本体として使うことができることなどから、**線路への影響や工期短縮**を考えたうえで、この工法を採用しています。

■ 連絡先

事業主体：岡崎市土木建設部道路建設課 Tel.0564-23-6251 担当 櫻井、東地
 工事受託：東海旅客鉄道株式会社 建設工事事務所
 施工業者：東海道本線若松線Bv新設工事共同体
 JR東海建設・フジタJV作業所 Tel.0564-73-8205 担当 野田